

活動報告

6月29日 (土) 定例会

男女共同参画からダイバーシティに向けて

講師 富山大学人文学部 教授 大工原 ちなみさん

男女平等推進センター開館15周年・男女共同参画週間事業企画講座として、大工原ちなみさんを講師にお招きし、講演していただきました。大工原さんは、女性も男性もいきいきと活躍できるような働きやすい職場が増えるように活動されています。2019年からは高岡市男女平等推進市民委員会会長を務められて、市の施策推進でも活躍されています。

世界的に見ても日本の男女共同参画は国別ジェンダーギャップ順位で153ヶ国中121位とアジア圏でも低く2019年度調査では過去最低となり、日本では未だに男性優先の意識が払拭できないために、女性管理職が少ない一因となっています。さらには富山県での男女共同参画の意識はさらに低く、子育て参加・家事においても都道府県別でほぼ最下位と考えさせられる結果になっています。急速に進む少子高齢化が問題になっている今こそ、男女共同参画が必要だと考えさせられました。

個々人の違いを尊重し受け入れ、男女共同参画やイクメン・カジダンのような言葉が当たり前になり、誰もが生きやすいコミュニティになることが理想なのだと感じました。

その他の活動

7月20日 (土)

定例会

高岡七夕まつり

「マイセタコンテスト」

七夕飾りの作成

高岡市長賞 受賞



11月9日 (土) 定例会 市民企画講座

「事例から学ぼう!働き方改革と女性活躍」

企画 男性介護者の会「みやび」

代表 平尾 隆さん

事例発表 株式会社アキデザイン

丸進商事株式会社

悩んでいることは
ありませんか

ひとりで悩まないでご相談ください

DV(配偶者や交際相手からの暴力)
家庭や職場のトラブルや悩み事など

高岡市男女平等推進センター相談室

TEL 0766-20-1811



主な
データ

相談件数: 2,648件(延件数)

主な主訴: ①DV 1,607件(60.7%)

②生き方 318件(12.0%)

③精神保健 228件(8.6%)

年齢別: ①30代 836件(31.6%) ②40代 782件(29.5%)

相談室より

相談室では一人ひとりの気持ちや考え方を尊重し、相談者自身が自分の力を発揮して問題解決に取り組んでいけるようなサポートを行います。

電話相談や面接の中で相談員とともに問題を整理しながら、今後の見通しをつけていくための知識や情報も提供しています。

相談時間 9:30~16:30 月・火・水・金
14:00~20:00 木

【電話相談】【面接相談】(面接相談は予約が必要です。)

※休館日は、毎月第4月曜日・12月29日から翌年の1月3日です。
(相談業務は毎週土曜日・日曜日と祝日がお休みです。)

高岡市末広町1-7(ウイング・ウイング高岡6階) ●高岡駅前

編集後記

男女共同参画推進員に依頼されたときは、男女参画とは?と一体どういう活動をされているのかも分からないところからの始まりでした。でも、色々な活動に参加させて頂き、働き方改革が叫ばれる中、女性がどうしたら働きやすく社会で活躍できるか、女性の意識の改革等、皆さん試行錯誤しながら活動を続けておられる事を知りました。また、今号もその一環として沢山の方々によって、無事発行することができました。ご協力いただいた皆様には深く感謝申し上げます。(盛田 英子)

広報部員

副会長 盛田 英子 寺林 洋
部長 山室亜希子 関澤 潤
清水 明香 前田 浩規
田中 博之 山本 一介
小林佐知子 岡野 識樹
深美 伸次 有坂 康永



平等・開発・平和

ともだち共立

第26号 富山県男女共同参画推進員高岡連絡会

推進員の活動にふれて

高岡市男女平等・共同参画課長 早苗 伊紀子



高岡市では、現在第2次計画となる「高岡市男女平等推進プラン」に基づき各施策・事業を実施し、性別により差別されることなく男女の人権が尊重され、あらゆる分野・場面において男女が対等に係わり、共に責任を担い喜びも平等に分ち合う男女平等・共同参画社会の実現を目指し取り組んでいます。

この男女平等・共同参画社会の実現には、行政だけではなく市民の皆様のご協力が必要なことから、地域における男女共同参画の実践の核として位置づけられている、富山県男女共同参画推進員高岡連絡会の皆様のご協力が大変重要になります。

現在高岡連絡会では、各小学校区から男女1名ずつ推薦された推進員52名の皆様が、男女平等・共同参画の普及啓発と、男女平等・共同参画の視点に立った地域活動などに取り組んでいただいています。

特に、今年度は現推進員の皆様の2年目の活動となるミニ地区懇談会が市内全域の各校区で開催されました。このミニ地区懇談会は高岡連絡会の主催により、各校区の推進員の皆様が企画し実施されるもので、広く地域の実情に通じておられる推進員の皆様が、これまで研修会等に参加し学ばれたことを各地域の方々にお伝えする機会として、市としてもとても大切なものと考えています。

そして、このような機会をとらえて、地域における男女平等・共同参画への取り組みが広がり、一人でも多くの方に男女平等・共同参画に関心を持っていただき、決して堅苦しいもの、特別なものではなく、家庭・地域・学校・職場などごく身近なところに潜む問題であることを知っていただくことができれば、大変ありがたいと思っています。

当課からも、ミニ地区懇談会開催会場へ職員が出向き、男女平等推進プランやDV対策基本計画、ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定制度など市の施策や、男女平等推進センターで実施している事業について、説明をさせていただいています。

令和元年度、男女平等推進センターは開館15周年という節目を迎え、市民と協働で男女平等・共同参画を推進する各事業の充実と取り組んできました。推進員の皆様には、センターの講演会やイベント、各講座について地域の方々への周知にご協力いただき、また積極的にご参加くださいましたことにお礼申し上げます。

これからも、男女が一緒になって活躍できる社会を目指し、センターを拠点とした市民活動の支援、情報提供や普及啓発活動に努めてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

この広報紙は高岡市のホームページからもご覧いただけます。

ほっとホット高岡 > 暮らし > 男女平等・共同参画 > 富山県男女共同参画推進員高岡連絡会

<https://www.city.takaoka.toyama.jp/gender/kurashi/kyodosankaku/renrakukai/index.html>



ミニ地区懇談会

6月27日(木) 五位・福岡校区合同

デートDV啓発講座 ～デートDVを知っていますか?～

講師 デートDV予防啓発チームのみなさん



たがわるい」などはNGワードであることを学ぶことができました。

デートDVの原因として、暴力を振るうこと自体が目的ではなく、相手を思い通りに動かす手段として用いていることや、自分の主張を通すために「力」による支配を行っていることが挙げられ、そうならないためには「自分の気持ちではなく相手の気持ちに合わせる」「相手の気持ちは自分の気持ちと違うことを前提に付き合うこと」「束縛は愛でないことを理解すること」「相手を尊重する関係を作ること」が大切だそうです。また、アイメッセージでコミュニケーションをとるためには、I(私)を主語とし、自分の気持ちを素直に伝え、結論を先に言うことが大事で「ごめん」「もうちょっと、がまんしたら?」「あなたがわるい」などはNGワードであることを学ぶことができました。(前田 浩規)

7月5日(金) 高陵・南星校区合同

『児童虐待の現状～私達にできること～』

講師 高岡児童相談所 所長 河井 真紀子さん

昨今、ニュースでも大きな問題として取り上げられることの多い児童虐待について、高岡児童相談所の河井所長を講師にお迎えし、具体的な数字や事例を交えてご説明いただきました。児童虐待に関する相談は年々増えており、高岡児童相談所でも専門の方々チームとなってさまざまなケースに対応されています。私達は「虐待者からの分離＝解決」と思いがちですが、児童の安心・安全を確保するにはその後も多くの時間と労力が必要なのだと改めて考えさせられました。また、私達が虐待に気づくこと、保護者を責めるのではなく見守る姿勢を持って孤立させないように努力することが、虐待防止の力になるのだと学びました。今回は、定塚、平米、博労、木津、南条の5地区合同開催となり、出席者も53名とミニ地区懇談会というにはやや規模が大きくなりましたが、たくさんの方々に聞いていただけてよかったと思います。(堀 佐枝子)



11月9日(土) 高岡西部・国吉校区合同

『頭が悪い???』～脳科学に基づいた認知に関する講演～

講師 厚生連高岡病院 高沢 弘樹さん



「左で四角形、右で三角形を同時にかけますか?」という問いかけに、和やかな雰囲気ですぐに講演会が始まりました。“左右同時にできない”“学校の勉強が苦手”と言うことが、頭が悪いということではなく、脳外科的に言えば、麻痺、感覚障害、失語、視野異常、失行、記憶障害等のことを言うのだと話されました。こうなると、根治できず後遺症が残り、患者だけでなく家族みんなに対応していかなければならないので、これ以上悪くならないようにするのを目標とすることが大切になってくる、と教えていただきました。また、テレビドラマの医師の写真を見せながらユーモアを交えて医師という職業にも触れられました。女性医師は、増えてきているが全体の20%程度でしかないこと、整形外科・脳外科が選ばれない理由として、“手術が長い”“急な呼び出しがある”“生命に関わることが多い”ことが挙げられるなどと話されました。女性の方が医師になるのには、色々な問題があるのだなと感じました。講演を聞いて、一番大切なのは、“なりたい人がなりたい職業に就くこと”そのためには、女性、男性、子どもたちみんなが幸せになれる方法をみんなで考えていけたらと思いました。(山室 亜希子)

11月9日(土) 牧野校区

DVの実態からみえること ～子どもたちへの影響は～

講師 高岡DV被害者自立支援基金パサパ 代表 向 富士子さん



前半は講演会、後半は対話形式の懇談会を行いました。講演では“高岡市におけるDV相談件数の実態”“パサパの支援活動の内容”“DVの種類、定義、近年の動向”“支援活動から見えたこと、感じたこと”についてお話しいただきました。講演後の対話では、皆さんご自身の結婚や子育て経験を振り返りながら感想や意見を出していただきましたが、年齢層の違いからDVへの認識も少しずつ違っているところが興味深かったです。今後は親子2世代や、孫まで含めた3世代でDV・虐待に関する意見交換の場があっても面白いのではないかと感じました。(池田 豊隆)

11月22日(金) 志貴野校区

防災における男女共同参画

講師 高岡市社会福祉協議会 会長 尾崎 憲子さん

誰もが安心出来る地域を目指して、災害時でも冷静かつ専門的な人材が男女を問わず求められている中、『防災における男女共同参画』と題して、地域における理想的な防災の姿はどうあるべきか?講師に尾崎会長をお迎えして、実践を交えた講演・バッククッキングを行いました。料理の苦手な男性にでも簡単に調理でき、被災後でも温かい料理が食べられ、男女関係なく作業に参加できるところが非常に良かったです。(深美 伸次)



民間支援基金パサパは皆様の支えで成り立っています!



DV被害者が、自立の一步を踏み出すための一時支援金を無利子で貸出します

DV(ドメスティック・バイオレンス)問題は社会認知もされ、徐々に支援の輪も広がっています。しかし未だ被害の相談件数は増加しており、子どもへの影響も深刻な問題になっています。パサパは、誰もが安心して暮らせる、何事も暴力で解決しない社会を願って活動します。

賛同するみなさんの会費・寄付で運営しています。あなたのサポートをお願いいたします。

〈会費・寄付振込先〉

ゆうちょ銀行〇七九店(079)当座預金口座番号 0057876

口座名 サポート基金パサパ
問合せ先:080-6358-0838

パサパって?
フランス語で、
「一歩一歩」という意味です。